



森と海の自然科 野田藤巡りと懇親会の報告

日時：2024年4月11日

参加者：新入会員4人を含む25人

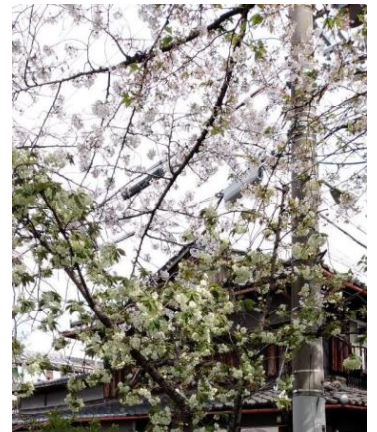
13時30分に阪神野田駅前広場に集合。広場には立派な藤棚があるが、つぼみはまだ堅い。所々少し伸びた花芽がうっすら薄紫色をしていただけ。桜も開花が遅れた今年、予想していたことではあつてけれど残念。福島区のホームページに唯一3分咲きと紹介されていた大開郵便局に、予定を変更して行ってみることにした。

咲いていました。まだ短い花房だけれど、紫色に可憐に下がっている。記念撮影をして今日の目的は一応達成できた？

その後おとづれた江成公園（共通講座の会場である福島区民センターの横）、野田緑道（中央卸売市場への引き込み線の跡）、野田コミュニティセンターなどでは、やはり藤は咲いていなかったものの、名残の美しい桜を楽しむことができた。戦災を逃れた古い街並み、お地蔵さんなども興味深いものであった。

のだふじ発祥の地とされる春日神社では資料館を見学した。この地で代々春日神社を守り、のだふじの復興に尽力されてきた藤家の18代ご当主、藤三郎氏と三郎氏夫人で春日神社宮司のマサ氏に案内していただいた。ただし、神社及び藤家邸宅敷地は今は大半がマンションとなり、庭園は、今回は時間の都合上見に行けなかったが、下福島公園内に復元されている。

なお、一般に植物のツルの巻き方は下から見て右巻き左巻きというが、牧野富太郎がのだふじを右巻きとしているのは上から見てのことであり、フジだけが例外となっている。もう一つの在来のフジであるヤマフジは上から見て左巻きである。4時が近づき、懇親会会場の「はなくじら」に急いだ。



おでんの名店とされる「はなくじら」で懇親会。早く予約していただいたおかげで、二階座敷が貸しきりとなっていて、新入会員の方々を囲み、代表挨拶、それぞれの自己紹介で、和やかに話が弾んだ。

6時半にお開きとした。

（記録 Cグループ 福嶋明子）